

岡崎版図柄入りナンバープレートについて

●概要

●図柄入りナンバープレートとは

- ・ナンバープレートの多角的な活用を図る観点から、2017年4月に図柄入りナンバープレートを導入
- ・“走る広告塔”として地域の魅力を全国に発信することを目的に、2018年10月に地方版図柄入りナンバープレートを導入



2017年4月～2020年1月交付
ラグビーワールドカップ特別仕様
ナンバープレート



2017年10月～2021年11月交付
東京2020オリンピック競技大会
特別仕様ナンバープレート



2022年4月～2027年4月交付
全国版図柄入りナンバープレート

●地方版図柄入りナンバープレートの導入状況

- ・全国133地域中、58地域(43.6%)で導入済
- ・普及率1位は「飛鳥」(6.59%) ※2023年6月末時点/2020年5月交付開始
- ・取付台数1位は「熊本」(40,702台) ※2023年6月末時点/2018年10月交付開始
- ・愛知県内導入地域は「豊田」と「春日井」
 - ※「豊田」:普及率0.64%(51位)/取付台数2,157台(46位) ※2023年6月末時点/2018年10月交付開始
 - 「春日井」:普及率0.84%(43位)/取付台数1,706台(50位) ※2023年6月末時点/2018年10月交付開始



<朱雀>



<くまモン>



<豊田スタジアムとグランバスくんファミリー>



<道風くんとサボテンキャラクター>

●対象車両

- ・登録自動車の自家用・事業用及び軽自動車の自家用の車両
- ・軽自動車の自家用のうち、車両番号のかな文字が「わ(貸渡)」及び「AB(駐留軍)」の車両は対象外
- ・二輪車は対象外

●図柄の種類

- ・フルカラー版とモノトーン版の2種類
- ・フルカラー版を選択する場合は、交付手数料に加え1,000円以上の寄付金が必要

●寄付金の活用

- ・寄付金管理団体((公財)日本デザインナンバー財団)が地域交通のサービス改善、観光振興等に資する事業に対し助成
- ・各地域で設置する協議会で、寄付金活用事業の内容を検討し、対象事業者を選定

●交付期間

- ・原則5年間の更新制
- ・交付期間満了までの直近約1年半で更新を判断
(更新基準に未達の場合、図柄の変更または交付終了を選択)

●岡崎版図柄入りナンバープレートの取組経緯

・2023 年大河ドラマ「どうする家康」の放送をきっかけに地域の魅力を広く発信するために岡崎市と幸田町が共同で導入

- ・2022 年4月 岡崎市と幸田町で導入に関する打合せを実施
 - ・2022 年6月 図柄入りナンバープレートの導入に関するアンケートを実施
～8月 (回答件数:1,660 件 反対意見の割合 6.9%(岡崎市:6.8% 幸田町:7.3%))
 - ・2022 年8月 国へ導入等意向表明書を提出
 - ・2022 年9月 国へ導入等申込書を提出
 - ・2022 年10月 デザイン案に関する人気投票を実施
～11月 (回答件数:6,152 件 採用デザインの投票割合 51.2%)
 - ・2022 年11月 国へ図柄に関する提案書を提出
 - ・2023 年8月 デザインが決定
 - ・2023 年8月 交付開始日及び料金が決定
 - ・2023 年9月 申込開始(25日(月)～)
 - ・2023 年10月 交付開始(23日(月)～)
- ・同時期に、5都県(秋田県・栃木県・群馬県・東京都・沖縄県)、4地域(いわき・那須・堺・広島)で導入

●採用デザイン

・図柄のモチーフは「徳川家康公の兜の変遷」(参考資料参照)

【フルカラー版】



登録自動車(自家用)



登録自動車(事業用)



軽自動車(自家用)

【モノトーン版】



登録自動車(自家用)



登録自動車(事業用)



軽自動車(自家用)

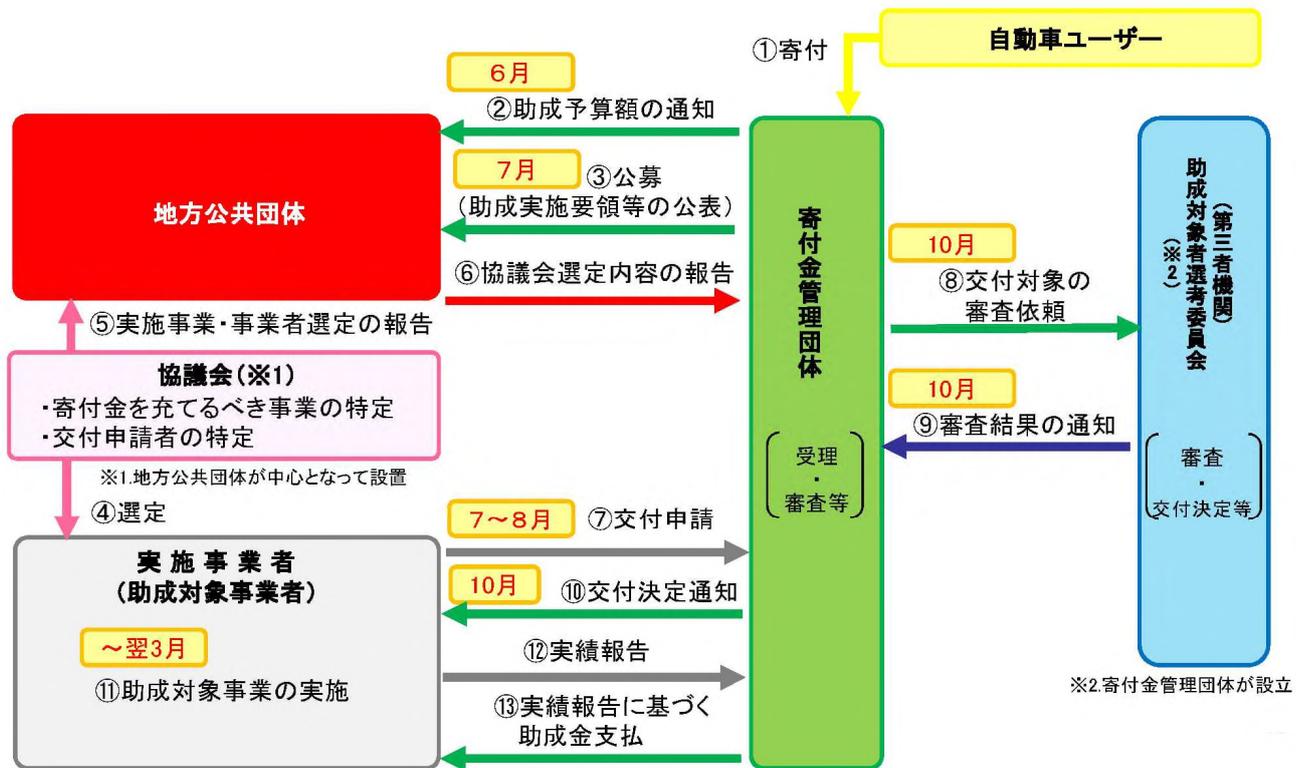
- ・対象車両は、岡崎市・幸田町に所在する登録自動車(自家用及び事業用)と軽自動車
- ・交付料金は、登録自動車 7,390 円(中板)・10,850 円(大板)、軽自動車 7,410 円

1 寄付金の活用方針について

・寄付金管理団体((公財)日本デザインナンバー財団)の助成対象は、交通改善、地域振興、観光振興等に資する以下の事業

- ①公共交通機関等のバリアフリー化に資する事業
- ②公共交通の輸送の円滑化、輸送力の強化に資する事業
- ③公共交通機関等の利便性の向上・観光旅行客の受入れ体制の強化に資する事業
- ④次世代自動車の普及に資する事業
- ⑤自動車等による交通事故防止対策、被害者救済対策に資する事業
- ⑥バスやタクシー等の公共交通事業者に対するドライブレコーダーやバックモニターの設置等公共交通機関等の維持確保に資する事業
- ⑦街づくりに資する事業
- ⑧観光施設・拠点等の保全・整備に資する事業
- ⑨その他、上記事業と一体となって利用者利便の向上、公共の福祉に資する事業

●寄付金活用事業の手続きフロー



・令和4年10月~11月の人気投票実施時に確認した寄付金活用事業の意向は以下のとおり

- ①公共交通機関の利便性向上・観光客受入れ強化(Wi-Fi環境の整備、観光誘客など)・・・29.9%
- ②交通事故防止(交通安全の啓発、防犯カメラの設置、交通安全施設の設置など)・・・29.0%
- ③まちづくり(道路環境の整備、野立広告物の撤去など)・・・22.6%
- ④観光施設・拠点の保全・整備(観光施設や観光拠点の維持・保全など)・・・14.7%

【寄付金活用方針案】

- ・「観光プロモーション」に資する事業に活用
- 岡崎市・幸田町のツアー造成やコンテンツ配信の充実によるデジタルプロモーションを推進

2 その他(普及目標及び目標達成に向けた取組について)

- ・今年6月末時点の普及率1位は「飛鳥」(6.59%)、2位は「富士山(山梨)」(4.32%)、3位は「出雲」(4.15%)
- ・取付台数1位は「熊本」(40,702台)、2位は「愛媛」(19,120台)、3位は「福山」(15,915台)
- ※「富士山(山梨)」、「熊本」、「愛媛」、「福山」は交付開始から4年9ヶ月の累計
- ※「飛鳥」、「出雲」は交付開始から3年2ヶ月の累計



<朱雀>



<富士山>



<八岐大蛇>



<<まモン>>



<みきゃん>



<広島東洋カープ>

【普及目標案】

- ・5年間で全国1位となる普及率7%(交付開始から1年間で3%、以後毎年1%増)を目指す
- ※対象台数313,180台(R5.3.31時点)
- ※1%…3,132台 3%…9,395台 7%…21,923台

(岡崎市・幸田町における普及啓発の取組)

- ・9月1日号の広報に特集記事を掲載
- ・ケーブルテレビ・ラジオで紹介
- ・庁舎ロビーにサンプルプレートとパネルを展示
- ・一部の公用車へ図柄入りナンバープレートを取り付け
- ・岡崎市HPのトピックスや、大封筒・中封筒、職員用名刺台紙にナンバープレート交付開始を掲載
- ・自動車ディーラーと連携し、店舗にサンプルプレートを展示し、ちらし等を配布
- ・啓発品(クリアファイル)を作成し、ちらし等を配布
- ・岡崎市の家康行列など、市内・町内のイベントでPR